

平成28年度 全国学力・学習状況調査結果報告

先日、文部科学省および横浜市教育委員会から、全国学力・学習状況調査の全国平均、神奈川県平均が発表されました。すみれが丘小学校の6年生は国語・算数ともに全国平均を上回っていました。調査結果から見える、本校の子どもたちの良さや課題についてお知らせします。

良さ

<国語>

- 全体的に、基本的な言葉の知識が身につけていて、適切に使うことができる。
- 書き手の表現に対して助言したり、書く事柄を整理したりすることができる。
- 登場人物の人物像を正確にとらえて読むことができる児童が多い。
- 話し手の意図をとらえながら聞いたり、質問したりすることができる。



<算数>

- 全体的に、基本的な計算の力が身に付いていて、的確に計算できる。
- グラフや資料、分度器のメモリを正しく読むことができる。
- 単位量当たりの大きさの求め方を理解している児童が多い。

課題

<国語>

◇目的に応じて、集めた情報を関係づけながら話し合ったり、グラフをもとに自分の考えを書いたりすることにやや課題がある。



- ・学習の中で分かったことや疑問に思ったことなどを書いたり、話し合ったりすることに力を入れていきます。
- ・グラフなどの情報から何が分かるのか、友達の考えと自分の考えを比べ、互いの考えの良さを見出し、深めた考えを整理して書くことなどを繰り返していきます。

<算数>

◇角の大きさなど図形の構成要素に着目して、図形を構成したり、形を判断したりする力に課題がある。



- ・知識だけでなく、活用できるように、実際に描いたり測ったり並べたりする具体的な活動を取り入れていくとともに、必要に応じて既習事項にもどって繰り返し、学習を積み重ねていくようにします。

<生活意識調査より >

【良さ】

- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しようとする児童が多い。
- 学校に行くのが楽しいと思っている児童が多い。
- 人が困っている時は進んで助けようとする児童が多い。
- 自分の考えを説明したり、書いたりすることが難くないと答えた児童が多い。
- 算数で学習したことを普段の生活に活用しようとする児童が多い。
- 宿題や家庭学習をしっかりと行っている児童が多い。
- 全国平均に比べ、「みんなと何かをやってうれしかった」という経験をしている児童が多い。
- 全国平均に比べ、地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童が多い。

【課題】

- ◇全国平均に比べ、自分に良いところがあると思っている児童が少ない。
- ◇全国平均に比べ、将来の夢や目標をもっている児童が少ない。
- ◇全国平均に比べ、寝る時間が遅い児童が多い。
- ◇全国平均に比べ、家の手伝いをしている児童が、やや少ない。
- ◇全国平均に比べ、地域行事に参加している児童が、やや少ない。
- ◇読書はよくしているが、図書室や地域の図書館を利用する児童は少ない。

